



2022年11月8日

各 位

会 社 名 バルミューダ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 寺 尾 玄  
(コード：6612 東証グロース)  
問 い 合 っ せ 先 取締役管理本部長 佐 藤 雅 史  
(TEL 050-3733-9206)

### 2022年12月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月10日に開示した2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想を以下の通り修正します。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,410	800	790	550	66.05
今回修正予想 (B)	18,410	100	4	2	0.23
増 減 額 (B-A)	—	△ 700	△ 786	△ 548	—
増 減 率((B/A)-1)	—	△ 87.5%	△ 99.5%	△ 99.6%	—
(参考)前期実績 (2021年12月期)	18,379	1,518	1,462	1,015	122.81

#### 2. 修正の理由

売上高については、ウィズコロナへの移行が進んだことによる外出機会の回復や、国内外において物価の上昇による家計への影響が強まったことが下押し要因となった一方で、昨年から本年にかけて国内外で発売したキッチン関連の新製品が概ね計画通りの販売台数で推移していることや、為替換算影響により海外売上が増加したこと等により、期初想定と同水準での着地見通しとなりました。

営業利益については、前年度と同水準使用する予定だった広告宣伝費を、用途を厳選することで前年比約18%削減、試験研究費も同様に期初予想対比で5割以上、前年比で約7割削減、人件費も前年比約2割増の計画を約1割増に抑制すること等により、販売費及び一般管理費を抑制したものの、記録的な円安の進行により、期初予想策定当時1ドル110円台前半だった為替レートが直近で1ドル150円前後にまで円安に振れたことにより仕入原価が上昇したこと、また、棚卸資産の評価減を98百万円計上したこと等により売上原価率

が期初に想定していた 62.6%から 68.9%に上昇する見通しとなったことから、期初の予想を下回る見通しとなりました。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、営業利益の減少に伴い期初の予想を下回る見通しとなりました。

以上